

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社三重県四日市畜産公社
商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場
(出資に関する事務の所管所属)
- 3 事前調査期間 平成30年12月5日から平成31年1月10日まで
- 4 監査期間 平成31年1月11日
- 5 監査対象年度 平成29年度
- 6 監査対象事項 出納その他の事務
- 7 監査方法 関係帳票の整備・記帳及び証拠書類の保存は適切か、会計経理及び財産管理等は適正に行われているか、財務諸表は適正に表示されているかに重点をおいて、関係帳票・証拠書類等の抽出調査及び監査資料に基づく質問等により行った。
また、所管所属に対し、出資団体の事業運営を十分把握し、指導的役割を果たしているかに重点をおいて、監査資料に基づく質問等により行った。

第2 監査対象の概要

- 1 設立年月日 昭和56年2月27日
- 2 資本金等（平成30年3月末日現在）
 - (1) 発行可能株式総数 400,000株
 - (2) 発行済株式の総数 100,000株
 - (3) 払込資本金 100,000,000円
 - (4) 四日市市の出資 25,000,000円（出資割合 25.0%）
- 3 役員数及び職員数（平成30年11月末日現在）
 - (1) 取締役 9名
代表取締役社長 原田 秀十志
その他取締役 8名
 - (2) 監査役 2名
 - (3) 職員 68名
(準社員、シニアパートナー、嘱託従業員、パートタイマー、期間社員、守衛を含む。)
- 4 事業内容
 - (1) 牛豚と畜業務及び内臓処理販売業務
 - (2) 牛豚枝肉の卸売業務
 - (3) 牛豚部分肉加工業務

5 決算の状況

第38期（平成29年度）、第37期（平成28年度）の損益計算書、貸借対照表は次の各表のとおりである。なお、各表は、当法人作成の「決算報告書」から転記したものである。

（1）比較損益計算書

科 目	平成29年度	平成28年度	対前年度増減額	増減率
	円	円	円	%
売上高	693,760,975	703,694,744	△ 9,933,769	△ 1.4
販売手数料	180,081,215	168,990,668	11,090,547	6.6
解体手数料	150,660,918	155,142,432	△ 4,481,514	△ 2.9
業務受託料	113,339,520	116,244,040	△ 2,904,520	△ 2.5
冷蔵庫保管料	25,031,808	25,483,032	△ 451,224	△ 1.8
牛加工料	48,649,927	55,942,548	△ 7,292,621	△ 13.0
豚内臓売上高	70,158,338	71,944,227	△ 1,785,889	△ 2.5
牛肉内臓売上高	33,964,360	32,036,462	1,927,898	6.0
豚加工料	71,874,889	77,911,335	△ 6,036,446	△ 7.7
売上原価	69,701,546	64,732,918	4,968,628	7.7
豚内臓仕入高	44,929,510	44,010,633	918,877	2.1
牛肉内臓仕入高	24,772,036	20,722,285	4,049,751	19.5
売上総利益金額	624,059,429	638,961,826	△ 14,902,397	△ 2.3
販売費及び一般管理費	724,134,149	738,067,658	△ 13,933,509	△ 1.9
営業損失金額	△ 100,074,720	△ 99,105,832	△ 968,888	1.0
営業外収益	102,336,557	101,887,823	448,734	0.4
受取利息	23	31	△ 8	△ 25.8
受入補助金	79,302,000	79,302,000	0	0.0
賃貸・光熱料	4,934,184	4,856,424	77,760	1.6
貸倒引当金戻入益	2,587,300	1,910,600	676,700	35.4
賞与引当金戻入益	14,100,000	14,100,000	0	0.0
雑収入	1,413,050	1,718,768	△ 305,718	△ 17.8
営業外費用	69,207	95,233	△ 26,026	△ 27.3
支払利息割引料	69,136	95,136	△ 26,000	△ 27.3
雑損失	71	97	△ 26	△ 26.8
経常利益金額	2,192,630	2,686,758	△ 494,128	△ 18.4
税引前当期純利益金額	2,192,630	2,686,758	△ 494,128	△ 18.4
法人税、住民税及び事業税	1,252,900	1,400,600	△ 147,700	△ 10.5
当期純利益金額	939,730	1,286,158	△ 346,428	△ 26.9

(2) 比較貸借対照表

	平成29年度	平成28年度	対前年度増減額	増減率
	円	円	円	%
流動資産	243,726,897	254,922,976	△ 11,196,079	△ 4.4
現金・預金	132,105,375	130,302,443	1,802,932	1.4
牛加工売掛金	4,023,191	4,917,727	△ 894,536	△ 18.2
受託販売未収金	72,271,153	83,001,490	△ 10,730,337	△ 12.9
内臓未収金	7,200,579	5,110,140	2,090,439	40.9
豚加工売掛金	4,017,141	3,889,817	127,324	3.3
貯蔵品	848,821	962,174	△ 113,353	△ 11.8
前払費用	107,270	107,170	100	0.1
短期貸付金	0	150,000	△ 150,000	皆減
立替金	223,380	267,880	△ 44,500	△ 16.6
未収入金	23,913,465	26,918,239	△ 3,004,774	△ 11.2
未収冷蔵庫使用料	498,312	566,676	△ 68,364	△ 12.1
自家用未収金	1,084,910	1,316,520	△ 231,610	△ 17.6
貸倒引当金	△ 2,566,700	△ 2,587,300	20,600	△ 0.8
固定資産	191,999,562	189,504,940	2,494,622	1.3
有形固定資産	601,302	946,680	△ 345,378	△ 36.5
建物附属設備	5	9	△ 4	△ 44.4
設備造作	25,688	28,830	△ 3,142	△ 10.9
機械装置	4	73,630	△ 73,626	△ 100.0
車両運搬具	93,756	205,354	△ 111,598	△ 54.3
工具器具備品	481,849	638,857	△ 157,008	△ 24.6
無形固定資産	128,260	128,260	0	0.0
電話加入権	128,260	128,260	0	0.0
投資その他の資産	191,270,000	188,430,000	2,840,000	1.5
長期貸付金	190,970,000	188,130,000	2,840,000	1.5
保証金	300,000	300,000	0	0.0
資産合計	435,726,459	444,427,916	△ 8,701,457	△ 2.0
流動負債	108,347,300	118,464,375	△ 10,117,075	△ 8.5
短期借入金	3,000,000	3,000,000	0	0.0
未払費用	69,689,853	83,576,545	△ 13,886,692	△ 16.6
未払法人税等	440,300	354,900	85,400	24.1
預り金	20,317,147	17,432,930	2,884,217	16.5
賞与引当金	14,900,000	14,100,000	800,000	5.7
固定負債	303,053,493	302,577,605	475,888	0.2
長期借入金	190,000,000	190,000,000	0	0.0
預り保証金	33,081,493	34,093,605	△ 1,012,112	△ 3.0

退職給与引当金	79,972,000	78,484,000	1,488,000	1.9
負債合計	411,400,793	421,041,980	△ 9,641,187	△ 2.3
株主資本	24,325,666	23,385,936	939,730	4.0
資本金	100,000,000	100,000,000	0	0.0
利益剰余金	△ 75,674,334	△ 76,614,064	939,730	△ 1.2
その他利益剰余金	△ 75,674,334	△ 76,614,064	939,730	△ 1.2
繰越利益剰余金	△ 75,674,334	△ 76,614,064	939,730	△ 1.2
純資産合計	24,325,666	23,385,936	939,730	4.0
負債・純資産合計	435,726,459	444,427,916	△ 8,701,457	△ 2.0

6. 取扱高

平成29年度、平成28年度の取扱高については、次の表のとおりであった。なお、表は、団体作成の「第38期定時株主総会召集通知」添付の取扱高報告から転記し、事務局が作成したものである。

(単位:円)

牛	平成29年度	平成28年度	対前年比(%)
①入荷頭数	4,036	4,571	88.3
②取引頭数	1,150	984	116.9
③平均単価/頭	858,320	894,530	96.0
④平均単価/kg	1,807	1,985	91.0
⑤取引金額	987,067,961	880,217,389	112.1

豚	平成29年度	平成28年度	対前年比(%)
①入荷頭数	90,744	90,286	100.5
②取引頭数	90,548	90,131	100.5
③平均単価/頭	41,938	40,029	104.8
④平均単価/kg	540	518	104.2
⑤取引金額	3,797,387,663	3,607,883,852	105.3

牛豚合計取引高	4,784,455,624	4,488,101,241	106.6
---------	---------------	---------------	-------

①入荷頭数＝食肉センターにおけると畜頭数

②取引頭数＝食肉市場における取引頭数

③平均単価/頭＝食肉市場で取引された枝肉等の1頭あたり平均額(＝⑤÷②)

④平均単価/kg＝食肉市場で取引された枝肉等の1kgあたり平均単価

⑤取引金額＝食肉市場で取引された枝肉等の総取引金額

牛部分肉	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年比(%)
取扱頭数	1,394.5	1,815.5	76.8
取扱重量	462,965.7	549,864.7	84.2
取扱金額	48,649,927	55,942,548	87.0

豚部分肉	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年比(%)
取扱頭数	16,613.0	19,352.0	85.8
正肉重量	1,010,010.6	1,149,161.2	87.9
取扱金額	71,874,889	77,911,335	92.3

内臓処理	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年比(%)
内臓売上	95,901,423	95,387,433	100.5
その他売上	8,221,275	8,593,256	95.7
合計売上	104,122,698	103,980,689	100.1

総取引高	5,009,103,138	4,725,935,813	106.0
------	---------------	---------------	-------

第3 監査の結果

「株式会社三重県四日市畜産公社」の出納及びその他関連する事務並びに所管所属の当法人に対する指導状況等について監査した結果、次の指摘事項及び意見のとおり、是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく通知されたい。

1 指摘事項

【株式会社三重県四日市畜産公社】

(1) 財務書類等について

ア 個別注記表の重要な会計方針に係る事項に関する注記において、引当金の計上基準に関する記載がなされていなかった。不備のない適切な事務処理を行うこと。

イ 営業報告書について、会社法に定める事業報告として、定時株主総会に議案として提出し、承認を得ている。会社法においては、事業報告の内容を定時株主総会に報告しなければならない旨定められており、規定に沿うように改めること。

ウ 貸付金利息の勘定科目を雑収入としているが、受取利息とする方が適切であるため、勘定科目を改めること。

(2) 文書管理について

次のとおり不適切な事例が見受けられた。不備のない適切な事務処理を行うこと。

ア 出張届において、出張届日の記載誤り及び出張者印並びに精算金受領印漏れ。

イ 四日市市からの補助金交付関係通知書において、社内回覧がなされていなかった。

【商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場】

特になし

2 意 見

【株式会社三重県四日市畜産公社】

(1) 経営改善について

ア と畜頭数がほぼ上限に達しているなか、経営努力で収支を改善していくためには、経営者にはそれに見合うような精緻な情報が必要となる。担当者は、結果としてのトータルの利益だけでなく、利益を構成する要素を十分に理解したうえで、改善点等の情報を社長に報告すること。 【改善事項】

イ 内臓について、仕入が増加している一方で、その見合い分の売上は増加していない。仕入から販売までいかにロスなく行くかということが重要であり、外部に対して十分に説明できるようにすること。 【改善事項】

(2) 累積欠損について

厳しい経営状況の中で単年度損益は黒字を維持し、累積欠損を段階的に圧縮し、退職給与引当金も積み増している。引き続き累積欠損を計画的に圧縮していくこと。 【改善事項】

(3) 技術の継承について

今後も安全で安心な食肉を提供していくためには、職員の技術が大変重要になってくるため、と畜の技術の高さを引き継いでいけるようにしっかりと研鑽を積みながら、引き続き良質な食肉の提供に努めること。 【要望事項】

(4) 消費者ニーズにかかる情報収集について

より幅広く情報収集をすることにより、消費者ニーズを十分に把握していく必要があると考える。消費者ニーズの集約を図るために、情報誌の購入や視察の旅費など情報収集にかかる予算を確保すること。 【改善事項】

(5) 食の安全安心について

平成32年(2020年)6月までのHACCP(ハサップ)認証など食の安全安心に関する取組みに努めているところであるが、より多くの方々に努力の成果が見えるようアピールに努めること。 【要望事項】

(6) 食育について

食育という観点から、小中学生を対象として、見学の受入れやパンフレットなどにより仕事内容を周知するなど、公社の果たす社会的役割のひとつとして具体的に検討すること。 【要望事項】

【商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場】

(1) 当法人への指導監督について

市から取締役を派遣し、取締役会議において経営改善に向けた指導監督を行っているとのことである。引き続き当法人の業務内容や決算状況を十分に把握するとともに、安全衛生対策や施設更新、当法人の社会的な使命について、当法人と十分に情報共有を図りながら、指導監督を行うこと。 【要望事項】